

# CASBEE® 大阪みらい 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

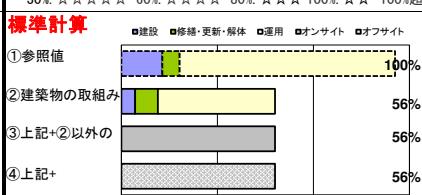
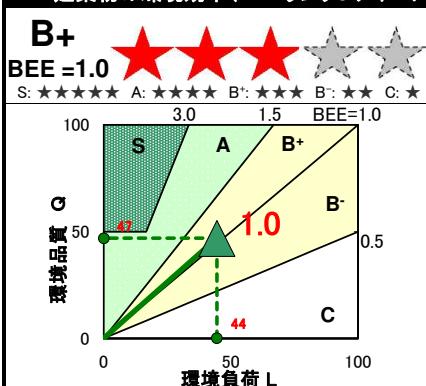
## 1-1 建物概要

建物名称	西三国第2住宅1号館建設工事	
建設地	淀川区西三国1丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主	大阪市長	
設計者	大阪市都市整備局住宅部	
敷地面積	7,084.89	m <sup>2</sup>
建築面積	1,434.47	m <sup>2</sup>
延床面積	15,759.02	m <sup>2</sup>
構造/階数	RC造	/ 地上14階
完了年(予定)	2026年3月	

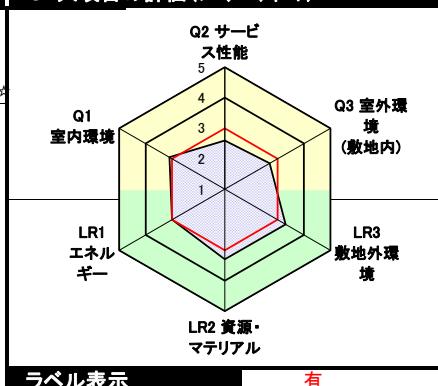
## 1-2 外観



## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

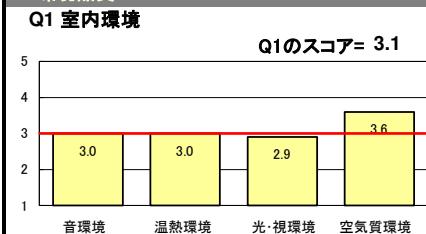


## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



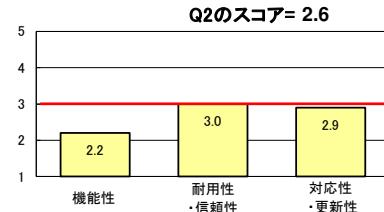
## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質



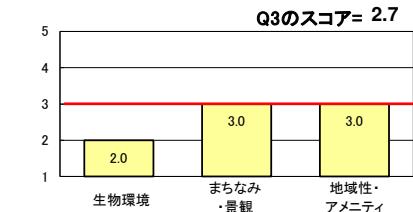
### Q2 サービス性能

### Q2のスコア = 2.6

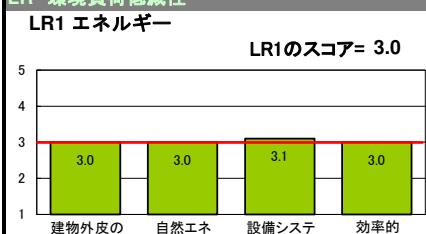


### Q3 室外環境（敷地内）

### Q3のスコア = 2.7

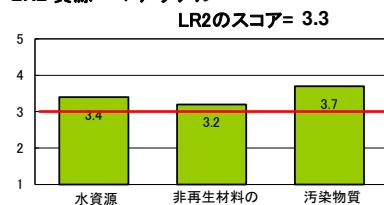


### LR 環境負荷低減性



### LR2 資源・マテリアル

### LR2のスコア = 3.3



### LR3 敷地外環境

### LR3のスコア = 3.3



## 3 設計上の配慮事項

### 総合

室内環境の向上を目指しシックハウス対策として、F☆4の材料を使用。また、建物の長寿命化に取り組み、廃棄物の抑制を目指している。更にグリーン調達の推進により、再生利用材料の使用に努めている。

### その他

特になし。

### Q1 室内環境

騒音、遮音に対し標準設計でRC壁・床厚さ150mm以上とし、かつ騒音測定調査に基づいた、建具の遮音性能を確保している。化学物質は住宅性能評価でF☆4を要求しており、建築材料はほぼ全面にF☆4を採用している。

### Q2 サービス性能

躯体材料の耐用年数を70年とするため、水セメント比50%のコンクリートを使用し、住宅性能評価で等級3を満足する長寿命の建物を計画している。

### Q3 室外環境（敷地内）

前面道路の歩道空間の確保及び、植樹帯による有効幅の狭い箇所に対し敷地内通路との一体利用を考慮した、歩道拡幅を行っている。地域に貢献する建物であり、地域に開かれた計画としている。

### LR1 エネルギー

自然エネルギーに対して、台所・食堂から居室までの2方向通風を確保し、建物の負荷低減に配慮している。

### LR2 資源・マテリアル

節水コマ・節水型便器を採用することで、節水・省エネ対策に配慮している。杭に高炉セメント、非構造材に再生アスファルト・再生骨材路盤材を使用しており、CO<sub>2</sub>の抑制に配慮している。

### LR3 敷地外環境

交通負荷制御について、附置義務台数を満足する駐輪場を設している。また駐車場において敷地内への進入に対する停車スペースを確保することで、車両出入りの円滑化と周辺への影響緩和に配慮している。

# 建築物環境性能表示 結果 [重点評価]

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮	4.7
配慮事項	CO2排出率を参考値以下とした。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 / 3.2 / 敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 / 2.2 / 温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	沿道空間の植栽帯による良好な歩行空間も考慮した緑地の確保に配慮している。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制	3.0
配慮事項	特になし。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化	3.1
配慮事項	特になし。

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)  
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能 等級3 (相当)	-
建物全体[BEI][BEIm]	
一次エネルギー消費量 0.99	0.99
非住宅部分[BEI][BEIm]	-